monthly report No. 24
2021.6.12

市民と共に、この国を動かす
～いのちと暮らしを守る政治を～

立憲民主党大阪府第 11 区総支部長
衆議院議員
平野博文

政権交代の受け皿となり、国民の命と暮らしを守る
議論に向き合わず、決意も覚悟もない菅首相に国難の舵取りは任せられない

「オリンピックの安全性と意義」「30 兆円規模の補正予算の提案」「会期の延長の提案」に関して、ゼロ回答（6/9 党首討論）

オリンピックの安全性と意義

感染リスクがある中で国民の命と暮らしを守れるのか、なぜ開催しなければならないのか、という問いに、首相は 57 年前のオリンピックの思い出話に終始するだけで明確な回答はしませんでした。

30 兆円規模の補正予算の提案

立憲民主党は、持続化給付金の再給付、雇用調整助成金の特例延長、生活困窮者に対する特別給付金、医療機関や医療従事者に対する追加支援等からなる「30 兆円規模の補正予算」を速やかに編成すべきと提案していますが、必要な支援は昨年度補正予算の繰り越しを活用すると述べるだけで新たな補正予算案の編成には応じませんでした。そもそも昨年度補正予算は昨年度内に執行すべきであり、多くの国民が昨年来ずっと事業や生活に困っているにもかかわらず、膨大な繰り越しがあること自体が問題です。

会期の延長の提案

感染症対策を含む新たな立法措置、緊急事態宣言の解除時期、ワクチン接種への対応など課題は山積しています。国会の機能を十分に発揮させ国家の危機に立ち向かうために会期の大幅延長を提案しましたが、首相は「国会が決めること」と応じませんでした。

六月九日　菅政権となって初めての党首討論で発言する枝野代表

大阪の新規感染者数は減少してきましたが、第4波においては医療救急体制が崩壊し、助かる命が助からず多くの命が失われてきました。全国で最も厳しい状況となった原因は、「変異株の猛威」だけでなく、第3波時の緊急事態宣言の早期解除判断、病床確保への見通しなど、府知事のリスク管理の甘さにある、との報道もありました。

いつやってきてもおかしくない第5波を防ぐためには、ワクチン接種の推進だけでなく、リスク管理の徹底の観点から、病床確保や感染防止対策の解除などの基準の厳格化が重要です。国会延長に消極的で、リスク管理よりも五輪開催ありきで突っ走る菅首相に、国民の命と暮らし、日本の未来を託すことはできません。

衆議院議員平野博文は、政権交代の受け皿として国民の皆様から信頼をしていただけるよう全力で頑張ります。

平野博文衆議院議員とともに、今後も暮らしの現場からの声に耳を傾けつつ、市民の健康と安全を守り、子どもたちの明るい未来を築くため全力を尽くします。

大阪府議会議員
山田　けんた

↓↓平野博文の SNS サイトです。是非ご覧下さい。↓↓

立憲民主党大阪府第 11 区総支部
〒573-0027　枚方市大垣内町 2 丁目 7-16 小北ビル 2 階
電話（072）841-2501 FAX（072）844-6502
メール hhirano@hi-ho.ne.jp
平野博文
URL http://hhirano.jp

市民と共に、この国を動かす。
～いのちと暮らしを守る政治を～

11 区総支部常任幹事会を開催

5/29、11 区総支部の常任幹事会を開催しました。（総支部長 / 平野博文衆議員、幹事長 / 野村生代枚方市議、幹事 / 山田健太大阪府議、久保田哲交野市議、奥野美佳枚方市議）大阪府議会、枚方市議会、交野市議会からの報告、党員・サポーターズ登録状況、街宣カーの運行の他、枚方・交野両市におけるワクチン接種の現況をはじめ、地域の諸課題についての対応を協議しました。また、秋までに必ず衆議院選挙が行われることをふまえ、総支部活動の一層の充実に向け意志一致を図りました。

枚方市からの要望に党として対応

5/26、枚方市のワクチン接種担当部局から、園児・児童・生徒等と接する機会の多い職場での感染、クラスターの発生が拡大していることをふまえ、教職員・保育士等を『医療従事者等』と同等の接種順位にして欲しい、との要望を受けました。

これまでも党としてエッセンシャルワーカー (医療、福祉、行政、保育、教育、消防、公共交通、運輸などを含む社会機能維持に必要な人材) への優先接種を求めてきましたが、改めて政府に対して優先接種の再検討を求めていくこととしました。コロナ対策に会期末はありません。引き続き、地元の議員の皆さんと連携を強めつつ、政府の対応を質してまいります。

あなたの声を国政へ届けます

新しい立憲民主党を幅広い方々の支持を得られる改革政党へと育て、皆様の手で政策、政権を選べる二大政党制をめざしております。

世界的に大きく遅れをとってしまいましたが、ようやくワクチン接種が進み出しました。大きな痛みを被っている経済の再生など、山積する政治課題へのご意見･ご要望はもちろん、コロナ禍に関するお困り事、お悩み事など、抱え込まずご相談下さい。併せてアンケートにもご回答頂けましたら幸いです。左記 QR コードからお進み下さい。

ご意見・ご要望などは、電話、ファックスでも承ります
電話　072-841-2501　ﾌｧｯｸｽ　072-844-6502

ポスター掲示にご協力をお願いします

事務所スタッフがお伺いし、掲出作業いたします。
【お問合せ】平野博文事務所
072-841-2501

第十一区総支部長
衆議院議員
平野博文

2021.6　号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル 3F
Tel.03-6811-2301
Fax.03-6811-2302